

▼ 6月15日
岡田小で恒例の田植え



岡田小学校の5年生 102人は、社会科の授業の一つとして、学校近くの水田で恒例の田植えを行いました。

今回初めて田植えを経験した金子慶紀くんは「最初は難しかったけど、やっているうちに楽しくなった。収穫が楽しみです。」と笑顔で話していました。

今後、児童たちは草取りや水管理などを行いながら稲の生育を観察し、秋の収穫を目指します。

▼ 6月11日
2 幼稚園が合同で運動教室



松前幼稚園と古城幼稚園は、親子で楽しむ運動教室を松前公園で開きました。子どもたちに新しい発見をしてもらおうと3年に1度開いているもので今年で4回目。古城幼稚園の中島永翔くんは松前幼稚園のお友達と遊べて楽しかった」とにっこり。母の有里さんは「忙しい生活の中で子どもと体を使ってふれあうことが少ないので、充実した時間だった」と話していました。

▼ 5月30日
交通事故のない松前町を目指して



松前町交通安全母の会総会は、町役場で行われ、交通安全指導員、警察署員とともに交通安全について考えました。

自転車のシミュレータを使った実習では、普段の何気ない運転の中に隠れている『危険』を学習。参加者は、交通安全への意識を高めるとともに、地域間の連携を強化して、さらに交通安全活動を充実させていくことを誓いました。

▼ 5月22日
重信川流域3市2町が合同水防訓練



松前町の周辺市町などで組織する重信川・石手川水防等連絡会主催の「重信川流域合同水防工法訓練」は、重信川河川敷で行われ、3市2町から約450人が参加し、水害に備えて関係機関の連携を確認しました。訓練は各自治体ごとに班を構成し、土のうと竹で強化したシートをのり面に設置したり、漏水や越水対策をしたりして計8つの工法を実践。参加者は真剣なまなざしで訓練に取り組んでいました。

▼ 6月19日
フレッシュリブまさきが軽スポーツで交流



「男女共同参画社会づくり」を目指して、第7回フレッシュリブまさきふれあい軽スポーツ大会は、松前公園で開かれました。「みんな集まれ！学ぶ・つながる・広がるわ！」の大会テーマのもと、200人が集い、13種目の競技を楽しみました。特に今年は、若いお父さんとお母さんの親子参加が多く、元気いっぱい、笑顔いっぱい、パワー全開で、ふれあいのわを広げていました。

▼ 6月14日
園児らが田植えを体験



農業を通して自然に触れてもらおうと、渡部寛さん＝徳丸＝が所有する水田で、青葉幼稚園の園児やその保護者ら約130人が、田植えを体験しました。

水田に入った園児らは足をとられ、泥だらけになりながらも楽しそうに1つ1つ苗を植えていました。14日に植えた苗は、10月に園児らが収穫し、おにぎり大会で食べる予定です。

▼ 6月8日
伊予高生が北黒田海岸を清掃



伊予高校は放課後、北黒田海岸の清掃を行いました。清掃は、家庭クラブと生徒会が中心となってボランティアを募り、313人で実施。家庭クラブ会長の山本香織さんは「東日本大震災の被災地の人が復興に向けて小さなことから地域のために活動してるように、私たちも何か地域のために貢献できたらと思い活動しました」と話していました。

▼ 5月22日
遊漁船組合が和楽園に魚をプレゼント



松前遊漁船組合（三好一榮代表）は、瀬戸内海の新鮮な海の幸を満喫してもらおうと、和楽園にハマチ、ヤズやホゴなど約90キロを贈りました。

贈られたのは、当日の朝に組合員が松山沖で釣ったばかりの魚。入所者の皆さんは、その種類と数の多さに驚いていました。魚は刺し身や煮付けなどにして、皆さんでおいしく食べたそうです。